

「横浜市民ギャラリー」の移転について

1 趣旨及び経緯

(1) 教育文化センターの機能移転

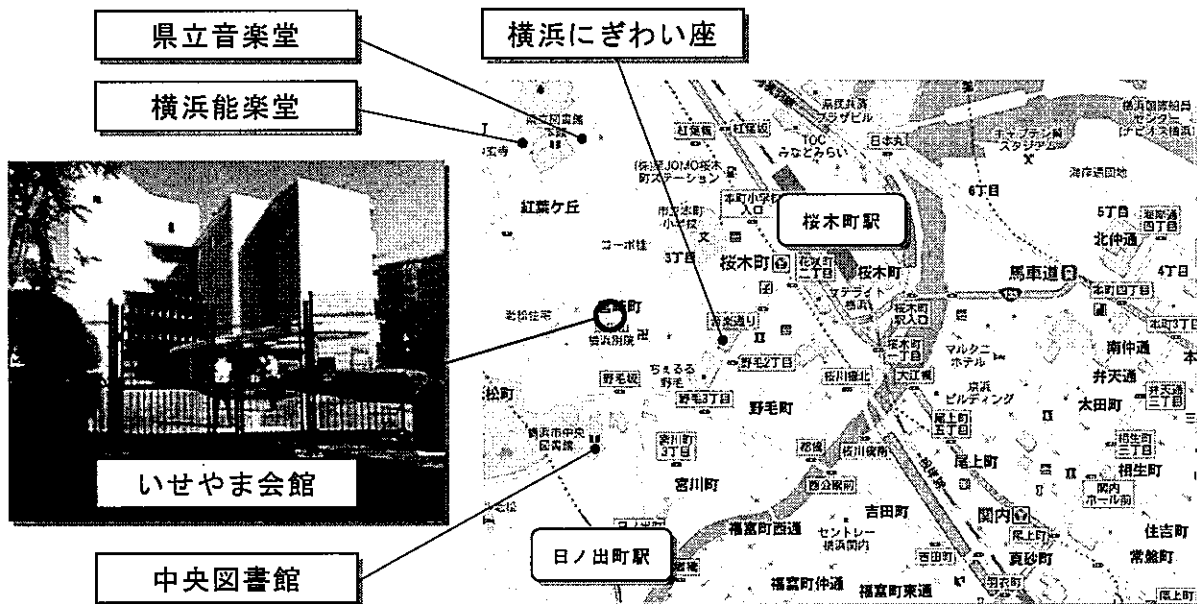
- ・ 横浜市民ギャラリーが設置されている教育文化センターは、耐震強度が低い建造物であり、同センターを所管する教育委員会事務局において、従来から耐震補強にむけた検討が行われてきました。
- ・ 東日本大震災以降、同センターは早急な耐震対策が求められる中で、費用対効果等の観点から、補強方法を検討した結果、耐震補強ではなく、機能移転にむけた調整が進みました。
- ・ 同センターは、平成24年度末に職員・市民の利用を終了し、平成25年度末までに完全退去、平成26年度以降に解体する方針が決定しました。

(2) 横浜市民ギャラリーの移転

- ・ この状況を受けて、現ギャラリーの機能を可能な限り維持できるような候補地を検討した結果、旧職員厚生施設「いせやま会館」を移転先としました。

(3) 「いせやま会館」への移転を決定した理由

- ・ 延床面積が同規模であり、単独施設として改修・運用の自由度が高い
- ・ 天井の改修により、大型作品の展示が可能
- ・ 当該地は、桜木町駅から徒歩10分・文化施設の集積地であり、地域の活性化につながる



2 今後のスケジュール（予定）

	H23 年度	H24 年度		H25 年度	H26 年度
	1 月～3 月	4～9 月	10～3 月		
【現状】 教育文化 センター での運営	利用 継続			休館	—
【移転先】 いせやま 会館 での運営	利用者・ 地元住民 説明	基本 設計	実施 設計	改修 工事	開館

3 「横浜市民ギャラリー」の概要

(1) 設置からこれまで

- ・ 昭和 39 年に開設された市政初の“文化施設”。当初、旧中区役所（桜木町駅前）に仮設置された後、昭和 49 年に教育文化センターに移転
- ・ 現在も毎年、企画展・公募展等が好評を得る一方、絵画教室といった普及活動を実施、市内外の作家達や多くの市民に親しまれている。

(2) 現状の施設概要

- ・ 施設面積（延床）／2,918 m²（教育文化センター 3 階～地下 1 階部分）
- ・ 竣工年度／昭和 49 年：築 37 年
- ・ 設備機能／展示室（1,831 m²、一部天井高 5.6m）、収蔵庫（作品点数 1,286 点）、公募作品保管室、アトリエ、資料・倉庫、ボランティアルーム、事務室他
- ・ 所在／横浜市中区万代町 1-1

(3) 総来館者数

461,554 人（平成 22 年度実績）

(4) 利用団体

施設の利用率／99%、利用団体数／177 団体（平成 22 年度実績）

4 旧職員厚生施設「いせやま会館」の概要

- ・ 施設面積（延床）／3,189 m²（地上 4 階～地下 1 階）
- ・ 竣工年度／昭和 62 年：築 24 年
- ・ 所在／西区宮崎町 26-1（桜木町駅徒歩 10 分、最寄のバス停から徒歩 5 分）